サークル・グループ文化祭

1月19日　産業文化センター

楽しく育つ、若者の自主性

青少年センターで活動している若者らによって企画・運営された同イベント。バンドやダンスの活気溢れるパフォーマンスや作品の展示会などが催され、多くの来場者で賑わっていました。

PHOTO

映像はこちら

企画展「玉山拓郎：FLOOR」

5月18日(日)まで　美術館

5つの展示室に跨るひとつの作品

立体的な造形や光などを組み合わせた作品を展開する作家玉山拓郎の過去最大規模の新作を展示。ひとつの巨大な物体が貫入された、非日常的で特別な空間を体験できます。問合せは美術館(☎34・3131)。

PHOTO

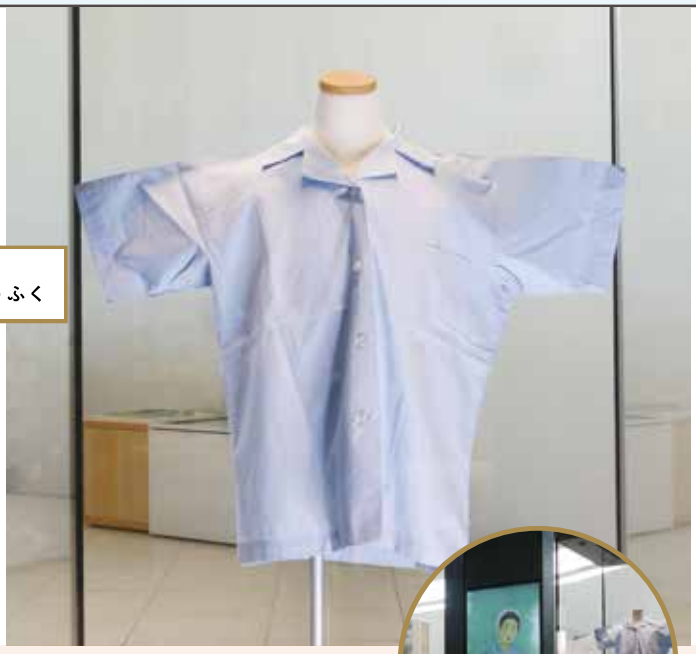
わがまちミュージアム

コレミテ vol.09

博物館　常設展示

加茂蚕糸作業服 かもさんしさぎょうふく

1960～70年頃に、製糸工場「加茂蚕糸」で使用されていた女性用の作業服(夏服)です。加茂蚕糸は養蚕・製糸業で栄えた挙母のまちを象徴する工場で、1917年に設立、1981年まで操業していました。現在その跡地には産業文化センターが建てられています。



ぜひあなたに見てほしい。
そんな推しの「コレ」を博物館や民芸館、
美術館などがご紹介します。

推しのポイント

加茂蚕糸には市内外から多くの女性が働きに来ていました。この作業服を展示しているコーナー「とよた記憶トラベル」では、実際に加茂蚕糸で働いていた人から伺った話をアニメーションで紹介しています。彼女たちはどのように働き、暮らしていたのでしょうか？そんな記憶に触れながら、ぜひ展示品をご覧ください。

紹介者
博物館

ホームページ

雪そりゲレンデ

1月24日　旭高原元気村

今年もこの季節がやってきた！

冬季限定の雪そりゲレンデ。来場者は広々としたゲレンデをそりで滑ったり、雪遊びをしたりと思い思いに楽しんでいました。ゲレンデは3月末まで営業予定。問合せは旭高原元気村（☎68・2755）。

PHOTO 映像はこちら

博物館 de プロジェクションマッピング

1月24日　博物館

街の夜を彩る新たなイベント

外壁に映像を投影するプロジェクションマッピング。博物館が会場になるのは初の試み。開放的で気持ちの良い空間の中、浮かべられたランタンも相まって、参加者は幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

PHOTO 映像はこちら

おおた市長ダイアリー

1月24日（26日 記念セレモニー）

「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体」として承認されました。

子どもの権利を実現することに積極的に取り組むまちとして、中部地方で初、全国で6番目となる「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体」に本市が承認されました。この日（26日）は、日本ユニセフ協会と共同で記念セレモニーを実施し、覚書の締結式のほか子ども会議の子ども委員から今年度の活動報告を聞きました。今後も市が行う様々な施策について、子どもたちの声を踏まえた子どもにやさしいまちづくりを継続して進めていきます。